

令和5（2023）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	マハタ	対象水域	日本海
都道府県名	青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、島根県	担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター 水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター 水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター

1. 調査の概要

青森県～島根県沿岸の海域を対象に漁獲量収集の可能性を調査し、漁獲量データが得られなかった京都府および兵庫県日本海側沿岸を除く海域において2021年および2022年の漁法別月別漁獲量を収集した。可能な場合はさらに過去に遡った漁獲量を収集した。青森県は日本海沿岸～陸奥湾の主要21港、石川県は主要10港、新潟県、富山県および福井県は一部漁港のみの集計であり、現状では海域全体の漁獲量の把握は困難であった。また、一部に他のハタ類が混在した集計値が含まれる可能性がある。

2. 漁業の概要

2021年および2022年の各県の漁獲量を図1に、遡って収集できた日本海側各県の漁獲量を表1に示した。対象海域全体の年間漁獲量は、2021年が8.5トン、2022年が9.6トンと両年とも10トンに満たなかった。最も漁獲が多いのは島根県であり秋田県、山形県、新潟県および石川県で1トンを超える漁獲量が集計された。また、漁獲の主体となる漁法や主漁期は地域により異なった。漁獲量が1トンを超える各県における2022年の月別・漁業種類別の漁獲量を図2～6に示した。

秋田県では7～11月に漁獲が多く、ほとんどが釣りおよびはえ縄で漁獲されていた。漁獲のピークは9月であった。

山形県では6～11月に漁獲が多く、釣り・はえ縄で主に漁獲されていた。漁獲のピークは9月であり、6～7月には刺網でもやや多く漁獲されていた。

新潟県では、6月を除く4～11月に漁獲が多く、4、5月および9～11月は底びき網が、底びき網が禁漁の7～8月はごち網の漁獲が多い。漁獲のピークは7月であった。なお、新潟県の本種の漁獲情報は上越地区のみから得られているため、県全体を代表していない可能性がある。

石川県では多様な漁法で漁獲され、年間を通すとほぼ周年漁獲がある定置網と夏～秋季にかけて漁獲が多い釣り・はえ縄、春季と秋季に漁獲が多い底びき網の漁獲量がほぼ等しく、刺網もこれらに次ぐ漁獲がある。

島根県では釣り・はえ縄による漁獲がほとんどで、周年漁獲されるが、夏～秋季にかけて漁獲量が増加し11月にピークを迎え、12月に入ると漁獲量が急減していた。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：本種は、北海道～九州西岸の日本海・東シナ海沿岸および本州中部以南の太平洋西部に広く分布すると考えられる（山田ほか 2007、瀬能 2013）。当歳魚は内湾等にも出現するが、成長に伴って生息水深が増し、水深 100～300 m 岩礁域や貝殻まじりの砂底等に生息する（山田ほか 2007）。
- (2) 年齢・成長：天然魚の日本海における知見は乏しいが、山口県油谷湾では 8 月下旬に全長 30 mm の当歳魚が、翌年 6 月には全長 110～150 mm の 1 歳魚が出現する（森 1995）。また、飼育魚では 3 歳で全長 408 mm、8 歳で 614 mm、10 年で最大 682 mm に成長する（山田ほか 2007）。老成魚は「カンナギ」とよばれ既知の最大個体は与那国島沖で釣獲された全長 150 cm 以上、体重 120 kg（雌雄不明）と言われているが、マハタモドキと混同されている可能性もある（IGFA 2023）。長崎県五島列島の市場では全長 17～99 cm、体重 0.1～15.4 kg のマハタが水揚げされ、10 月に肥満度が高くなる（Okuyama and Nakagawa 2023）。
- (3) 成熟・産卵：他のハタ科と同様に雌性先熟雌雄同体で、雌として 5 歳以上で成熟し、機能的雄に性転換する個体が現れるのはさらに高齢で 10 歳（6 kg）以上と考えられる（土橋 2005、2014）。天然魚の GSI の変化や仔稚魚の出現等から産卵期は 6～7 月と考えられている（山田ほか 2007）。
- (4) 被捕食関係：魚類、甲殻類などを食べる（山田ほか 2007）。

4. 資源状態

釣り・延縄、底びき網、ごち網、刺網、定置網など多様な沿岸漁業で漁獲されていることが示されたが、いずれの漁業も本種を主対象としてはおらず、資源量指標値は得られていない。マハタの漁獲量は兵庫県や京都府では集計されておらず、一部の漁港の集計値しか得られていない県も少なくない。他のハタ類との分離が不明確である漁港もあることから集計値の精度は高くはないと考えられる。また、漁獲物の組成や2020年以前の漁獲量集計値が乏しいことから資源動向の把握が困難な状況である。

5. その他

一部の漁港では本種として区別された漁獲量集計値が得られるものの、ハタ類として他魚種と区別せずに集計された値しか得られていない漁港が多い。そのため、県・地域によって漁獲量が過小となっている場合と、過大になっている場合がある。今後もデータを十分に精査することが不可欠である。また、対象海域では基礎的な生態学的知見も乏しいが、十分な標本が得られる見込みはなく、漁獲物の組成調査や基礎的生物学的情報の集積は困難と考えられる。本種は若齢魚の成長は比較的優れているものの、雌としての成熟まで5年、機能的な雄が出現するまでは10年以上かかると推定されるため、若齢魚を取り残す方策を検討する必要がある。

6. 引用文献

IGFA (2023) Database of IGFA angling records until 2001. IGFA, Fort Lauderdale, USA.

森慶一郎 (1995) 山口県油谷湾における魚類の生態学的研究, 中央水産研究所研究報告, 7: 277-388.

Okuyama, J. and M. Nakagawa (2023) Seasonal fluctuation in the length-weight relationship of groupers in the Goto Islands, Japan. *Thalassas*, 39: 27-34.

瀬能 宏 (2013) ハタ科. 757-802 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 東京, pp757-802.

土橋靖史 (2005) マハタの種苗生産技術開発に関する研究. 三重県科学技術振興センター水産研究部研究報告. 12: 23-51 998.

土橋靖史 (2014) マハタの種苗生産・養殖技術. *Nippon Suisan Gakkaishi*. 80: 998.

山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次 (2007) マハタ. 「東シナ海・黄海の魚類誌」東海大学出版会, 秦野市, pp574-577.

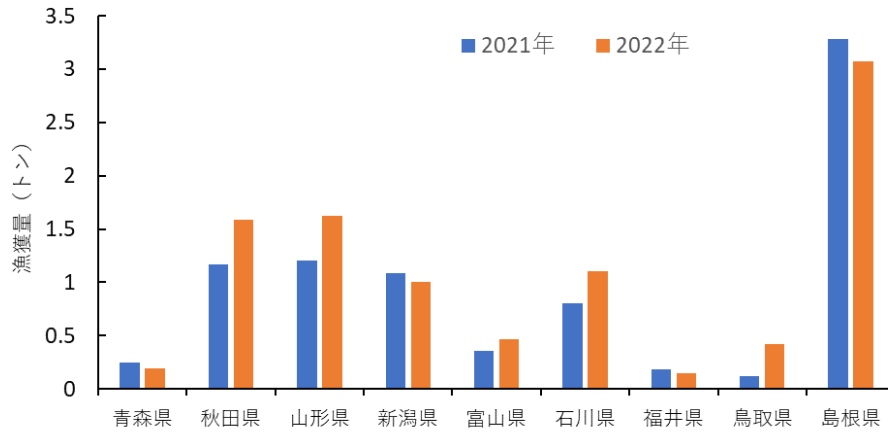


図1. 日本海の県別マハタ漁獲量 (2021、2022年)
他魚種が混在している可能性がある。

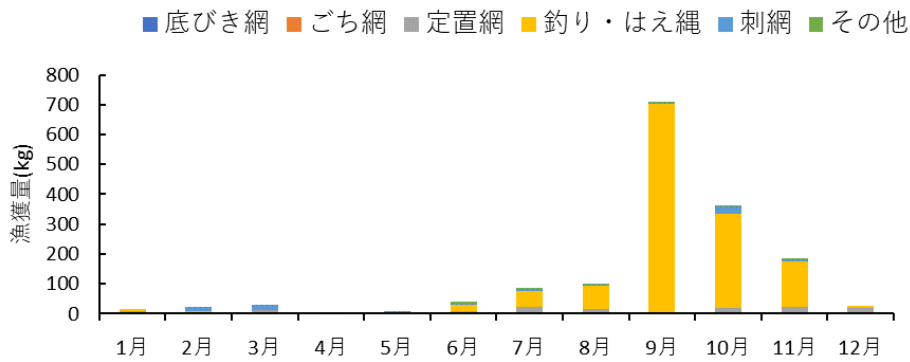


図2. 秋田県におけるマハタの月別漁業種類別漁獲量 (2022年)

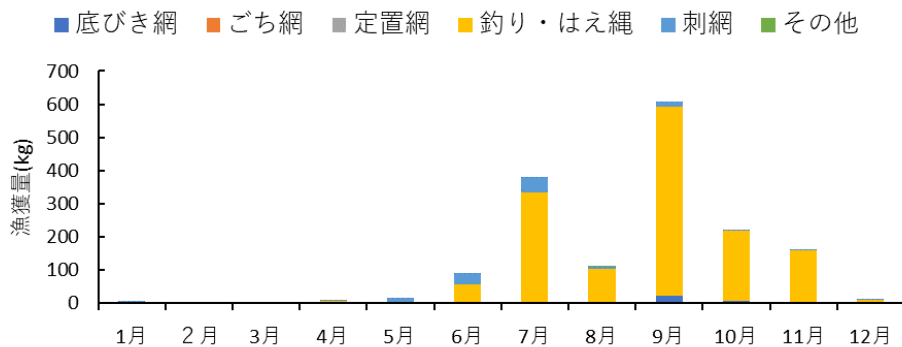


図3. 山形県におけるマハタの月別漁業種類別漁獲量 (2022年)

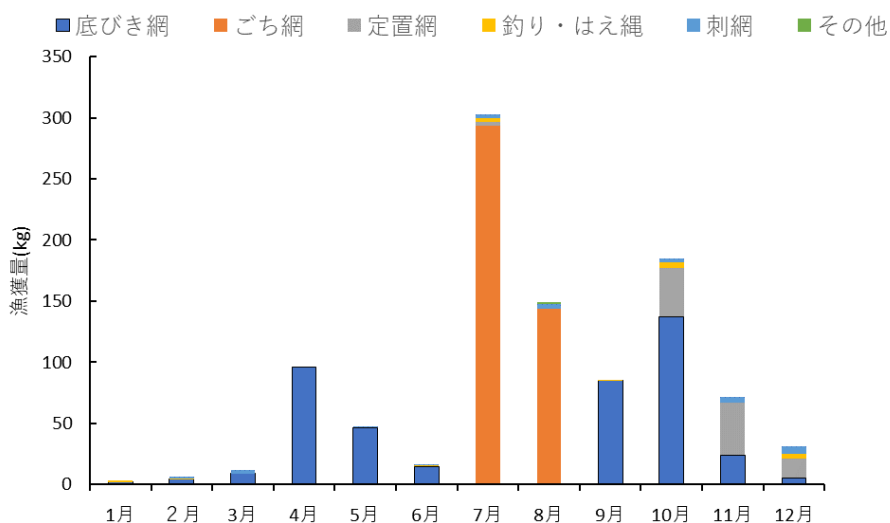


図 4. 新潟県（上越地区）におけるマハタの月別漁業種類別漁獲量（2022年）

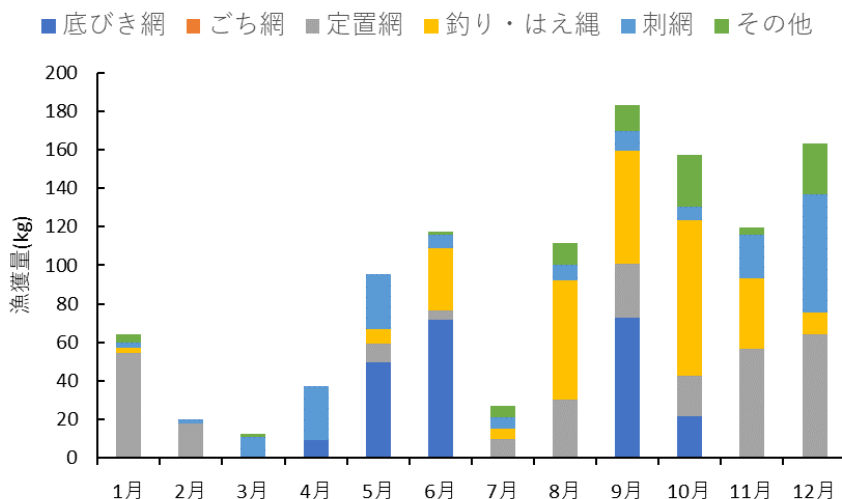


図 5. 石川県におけるマハタの月別漁業種類別漁獲量（2022年）

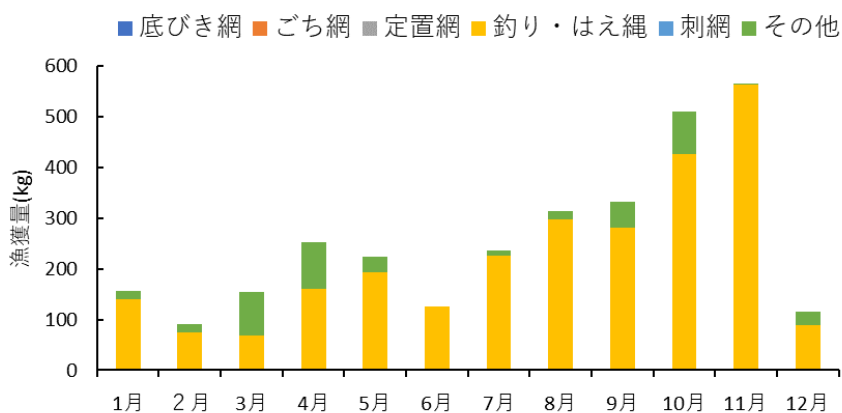


図 6. 島根県におけるマハタの月別漁業種類別漁獲量（2022年）

表 1. 日本海側各県におけるマハタの漁獲量 (kg)

年	青森県*1	秋田県	山形県	新潟県*2	富山県*3	石川県*4	福井県*5	鳥取県	島根県
2007	47								
2008	42								
2009	42								
2010	68								
2011	14							2,444	
2012	137							2,910	
2013	340							3,202	
2014	297							4,088	
2015	250							4,021	
2016	340	306						3,088	
2017	348	457						2,495	
2018	11	567						1,195	
2019	40	371						282	
2020	220	1,163				852		175	
2021	244	1,172	1,206	1,082	361	806	187	123	3,278
2022	195	1,587	1,620	1,006	465	1,108	144	423	3,075

各県調べの値。空欄は集計値が得られていない。京都府および兵庫県は水揚げ集計値が得られていない。また、いずれの県も他魚種が混在している可能性がある。なお、対象海域と隣接する山口県の仙崎港および萩港の合計年間漁獲量は 2021 年が 1,840 kg、2022 年は 1,677 kg であった。

*1：日本海沿岸～陸奥湾の主要 21 港の集計値、2017 年以前はキジハタを含む値。

*2：上越地区のみの集計値。

*3：一部の漁協の集計値。

*4：主要 10 港の集計値。

*5：越前町を除いた集計値。